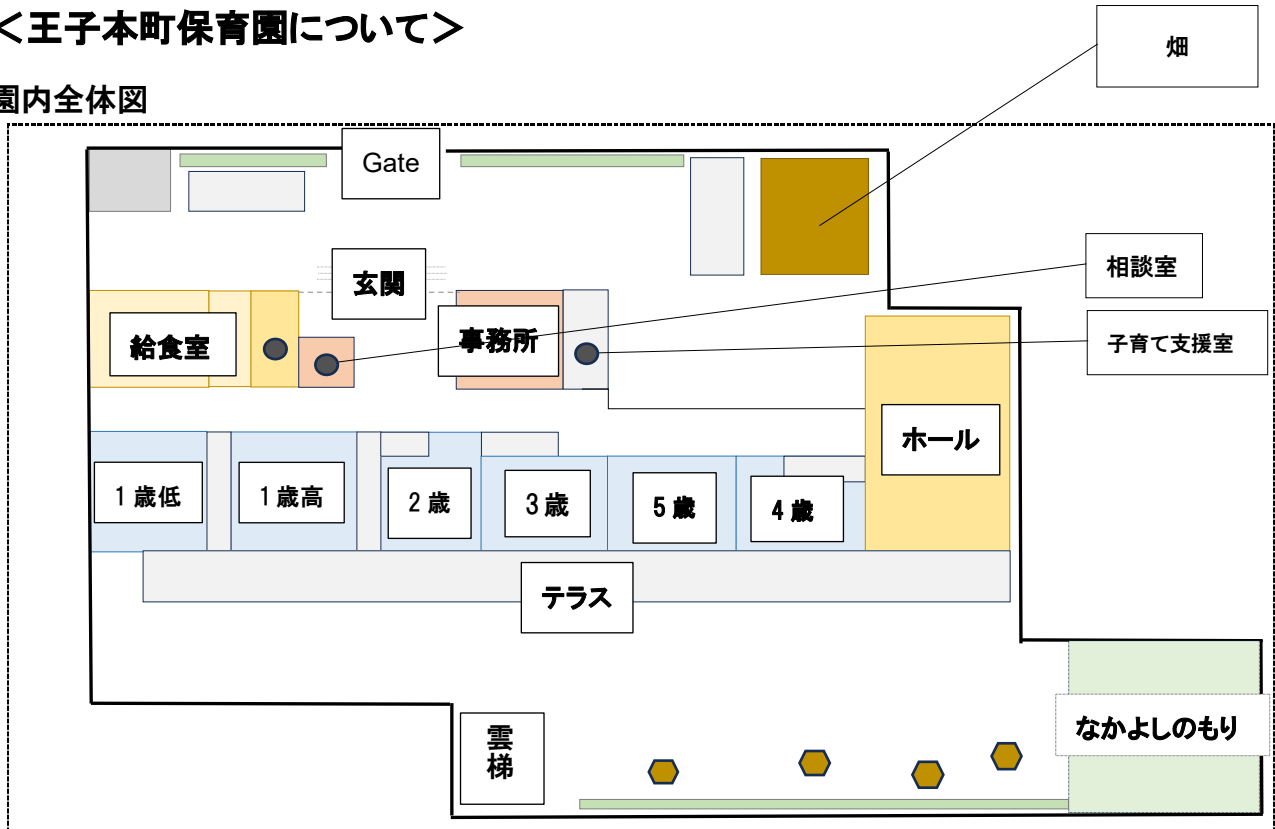


<王子本町保育園について>

園内全体図



健康的で有益な食事

多くの保育園がそうであるように、私たちは日本政府が示す栄養、衛生、アレルギー等のガイドラインを遵守しています。私たちは加工食品をほとんど使いません。新鮮な野菜、果物、肉、魚を使って、毎日給食室で手作りした給食とおやつを用意しています。食材も凍らせません(賞味期限までに使い切ります)。また、ガイドラインでは栄養や健康などの教育だけでなく、旬の食事、行事に合わせた食べ物、調理経験、畑での活動に取り組むように示しています(私たちの活動は添付資料1、通常給食、行事食、教育活動を見てください)

健康維持

成長発達段階に応じた子どもたちの特性を職員全員が理解するよう努めています。私たちは定期的な研修プログラムを実施し、スタッフが「子どものウェルビーイング」の定義と子どもと親のウェルビーイングの維持または向上を支援する方法を理解できるようにします(添付資料2:子どもの健康を促進するための資料を参照)。

王子本町保育園には常勤の看護師が勤務しております。看護師は、怪我や体調不良の子どものお世話をし、子どもの健康を維持するために親を指導するほけんだよりを作成し、すべてのスタッフメンバーを対象とした健康研究を主導します。

環境

私たちの目標は、自然で豊かな保育を提供することです。私たちは誰もが自然の一部であると信じており、子供たちが生涯を通して健康な心と体を持つためには、自然を体験し、探索することが不可欠です。また、重大な損害や怪我を避けるために、子どもたちの行動(遊び、喧嘩、おふざけなど)に早期に介入するよ

う努めますが、すべてのリスクを取り除くことはしません。私たちは、子どもたちを「見守る」(見守り、保護するだけでなく、解決策の自主性と所有権を奨励する)必要があると信じています。私たちは問題や対立を無視しません。私たちは安全対策を講じていますが、子供たちは時々安全地帯から出る必要があると考えています。私たちは、子どもたちが一定の年齢に達すれば自分の安全を保つことができると信じており、子どもたちはそれぞれ経験から学ぶことができると信じています。以下に、自然で豊かな保育の例をいくつか示します。

家具：木製家具（ブナ材）を使用しております。ブナは日本の多くの家具に使われています。耐久性に優れ、色が明るく、滑らかな質感が特徴です。プラスチック塗装の家具ではなく、メンテナンス（定期的なオイル塗布）が必要な天然木の家具を使用しております。プラスチックの表面はお手入れが簡単です。手触りや見た目も均一で刺激が少ないです。子どもたちは、それぞれの木材の違いを感じたり見たりすることで、視覚、触覚、嗅覚の複数の刺激を受けることになります。人生の初期段階で刺激が多ければ多いほど、子供の脳はより活性化されます。幼児期のこの脳の活性化は、その後の学業成績、良好な精神的健康、その他の生き残るためのスキルの基礎となると考えられています。

園庭：保育者はプロの庭師との打ち合わせに同席し、双方向の話し合いでは子供たちが安全に遊んで多くの学習体験をできるよう配慮します。

校庭が自然に美しく、また近隣に溶け込むよう配慮しています。

子どもたちから「なかよしのもり」と名付けられた緑豊かなエリアを整備しています。この森は、子どもたちが木陰でくつろいだり、体幹を鍛えたり、季節の変化を感じたり、虫の観察・捕獲などをすることができる遊び場であり、自然学習の場でもあります。

王子駅前に当初はシンボルツリーだった遊具があります。この木は伐採され廃棄される予定でしたが、王子本町保育園が園庭の一部として受け入れたものです。子どもたちは、この木が寿命を迎えるまで遊具として使い続けます。

遊び場には自然素材がたくさんあり、子どもたちはそれらを創造的に使ってごっこ遊びをします。

キャラクターグッズ：キャラクター商品は子供が見つけやすいため、撤去すべきであると考えます。これらは大々的に宣伝されており、注意を引くように注意深くデザインされています。キャラクターグッズの使用は、子どもたちの創造的な遊びを制限し、さまざまな学習体験を妨げることになると考えます。私たちの保育園にはたくさんの遊び方があります。私たちは、子どもたちがキャラクターに過度に集中して、学び多き遊びの時間を減らしてほしくありません。